

チェックシートの運用

作成者 佐藤佑海 山下哲史 井上将馬

● 本チェックシートの特徴

本チェックシートは日本大学工学部の浅野和香奈さんが作成したチェックシートを参考とし、簡略化したものである。既存のものとの違いとして、チェック項目を減らすことにより、地域の人たちが散歩などをしていても気軽に利用することができるものにした。チェックポイントとしては「デコボコ」「ヒビ」「草」「めくれ」「さび」の5つの観点から調査出来るようになっておりその際発見した劣化箇所をレベル 1～3 の段階に区別し、正の字で記入を行い、調査した場所の危険度を総合的な判断ができるように作成した。

参考文献：日本大学工学部の浅野和香奈さんのチェックシート

<http://bridgemaintenance.net/wp/wpcontent/uploads/2020/09/bec47ae2220239e48df56dc42abbe8df.pdf>

● 使用方法

- ①散歩など外出をする際にチェックシートと筆記用具を持つ。
- ②チェックする場所の範囲を決め、普段見ない箇所を探し、劣化部分や破損箇所を見つける。
(例：道路のひび割れ、歩道橋のサビなど)
- ③チェックシートに記載されている写真と見比べて損傷具合を判別する。
- ④裏にひっくり返し、写真があった同じ枠内に「正」の字を記入する。
- ⑤損傷が激しいところにおいてはマイシティレポートに投稿してもらう。

○注意事項

本チェックシートを使用するにあたり、15 歳未満のお子さんの 1 人での使用はご遠慮ください。また、危険な場所には近づかず、終了後は絶対に手を洗ってください。

● 運用方法

本チェックシートは*マイシティレポートの効果的な運用のために制作したものである。運用方法としては、前項で述べた、かなり危険とみなされるレベル 3 の段階に当てはまった箇所に対して、アプリでの投稿を呼びかけるようにし、行政との連携を取り、土木リテラシーの活性化、最終的には街のインフラの安全化を目指している。

*マイシティレポートとは、対応している市内で起きている様々な課題を、スマートフォンアプリを使い市民たちが行政にレポートを提出することで共有し、合理的、効率的に解決していく取り組みのことである。